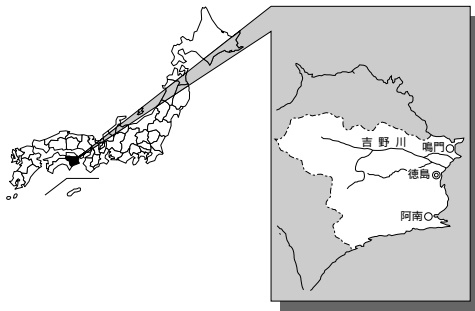


土木紀行

松坂隧道

徳島県海部郡牟岐町



1. はじめに

高知県室戸市から徳島県阿南市に至る海岸は室戸阿南海岸国立公園に指定され、徳島県牟岐町はそのほぼ真ん中に位置する。この隧道の場所は、景勝 八坂八浜と呼ばれ、約12kmの海岸線で連続する岬と入り江の起伏が豪快な黒潮の妙をかもしだしている中で、今は、静かなたたずまいの中、車と人の行き来を見守っている。

2. 県民・町民の悲願道路

隧道の位置する内妻地区の玄関を現在は改良された国道55号線が走っている。この道は昔より八坂八浜の難所といわれたところではあるが、現在は快適なドライブコースとなっている。

この車道の幕開けは大正4年から長い歳月をかけ改良が行われ、大正11年（1922年）4月に八坂八浜の改良工事が全線完成し開通の運びとなった。当時海部郡の主産物（海産物・農産物）の輸送手段は、海上交通に頼っていた町民・郡民にとっても貨物自動車での輸送は夢であったと伝え聞く。特に海上交通は欠航が多く産業の発展には道路交通は悲願であったと思う。

長い年月と多大な費用を投じて完成した道は住民、県民の熱望であり、それだけに開通の喜びは大きく、当時の開通式には住民たちが総出で見物に行ったといわれ、この日は地区始まって以来の大行事であり、浜にやぐらを組み、餅投げをして

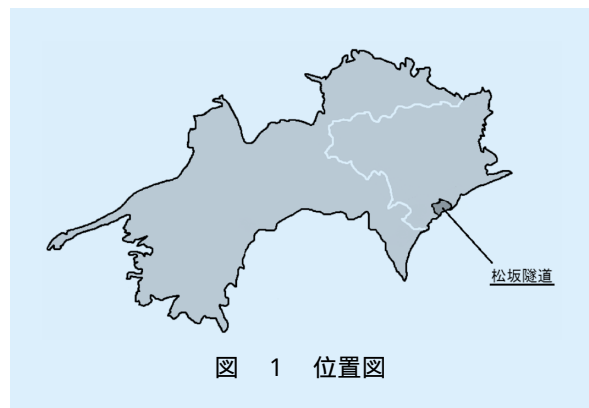


図 1 位置図



写真 1 松坂隧道（徳島側）

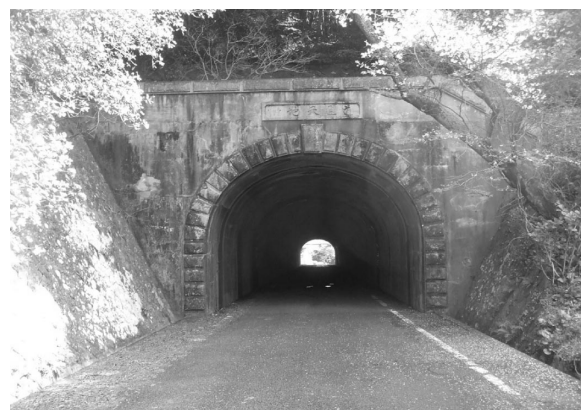


写真 2 松坂隧道（高知県側）



写真 3 銘板（徳島側）松坂隧道



写真 4 銘板（高知県側）道通天地

お祝いをしたと伝えられている。

3. 先進技術の工法

さて、この隧道は大正9年（1920年）9月に起工し、翌大正10年（1921年）7月に完成。現場にてコンクリートを打ち込む工法を用いたトンネルとしては国内最古であることが確認された。

隧道の詳細については、当時の資料に延長87.27m、有効幅員4.5m、有効高4.0m、巻立方法：場所打ちコンクリート（配合1：2：4）、巻厚63.6cm、路面工：砂利敷と記載されている。

路線については、国道番号制で指定される。県道日和佐 甲浦線に編入、昭和43年国道55号線に編入、昭和59年4月町道に編入、現在に至る。

コンクリートが国内に伝わったのは明治期ではあったが、当時の技術者にとっては依然として



写真 5 トンネル内コンクリート状況

「未知の技術」であり、石やレンガ造りが主流の時代にこの工法を用いた技術者たちの先取りの精神の素晴らしさとともに現存するこの最古のコンクリート製トンネル、築91年という年月を経て現在は町道白木古江線として交通量の少なくなった静かなたずまいの中で、車両、人の行き来を見守っている。

松坂隧道は長きにわたり先人達が道路の必要性を唱え続け、また未来を見据えた技術者たちの英知の結集を、私たち現在に生きる者たちが後世に伝えていかなければならない。

4. 現在の松坂隧道

現在、国の登録有形文化財の指定を受け、地域の資産として地域の活性化の一助となっており、毎年初夏になると、1980年代に地区住民により植えられた約4,000本のアジサイが沿線を彩る。四季折々の情景をトンネルとともに映し出す松坂隧道へ一度訪れてみてはいかがだろうか。

【交通】

車で：徳島市から国道55号線で約1時間30分
JRで：牟岐線 牟岐駅から徒歩20分

【参考文献】

牟岐町誌

【お問い合わせ】

徳島県海部郡牟岐町役場 産業建設課
電話（0884）72 3418